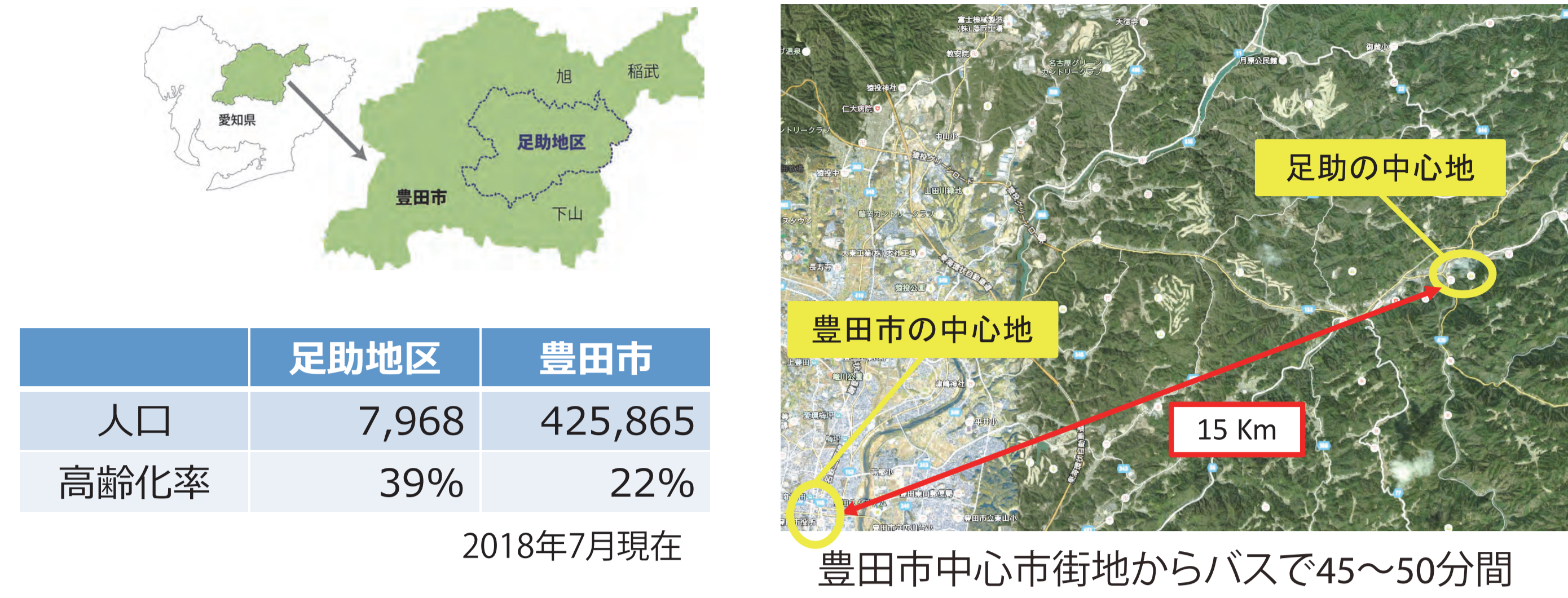


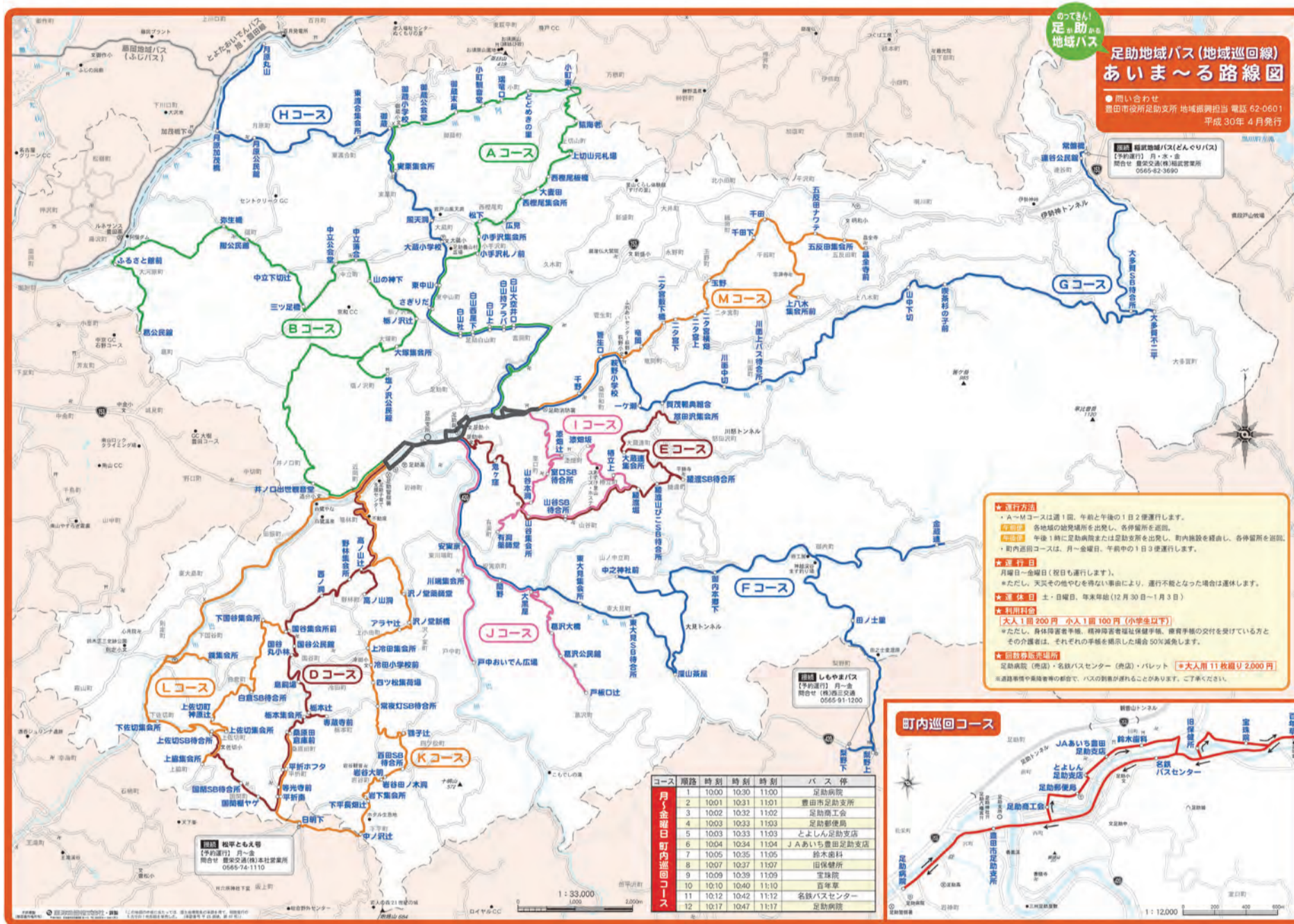
豊田市足助地区における地域バス「あいま〜る」利用促進MM

佐藤仁美*, 剣持千歩*, 三輪富生**, 森川高行*
*名古屋大学 未来社会創造機構 **名古屋大学 未来材料・システム研究所

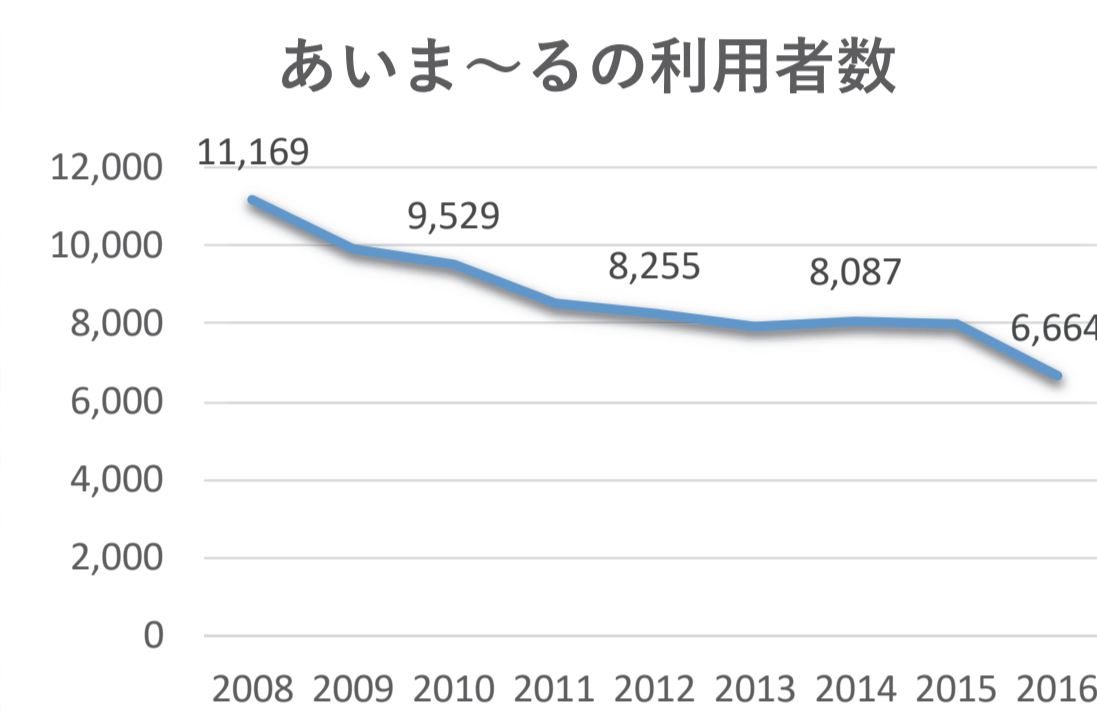
対象地区：豊田市足助地区



地域コミュニティバス あいま〜る



- ・13路線のコミュニティバスを運行（スクールバスは一般乗客混乗可）
- ・各路線週1日・2便/日のサービス
- ・大人200円、子供と高齢者等100円
- ・利用者は年々減少傾向



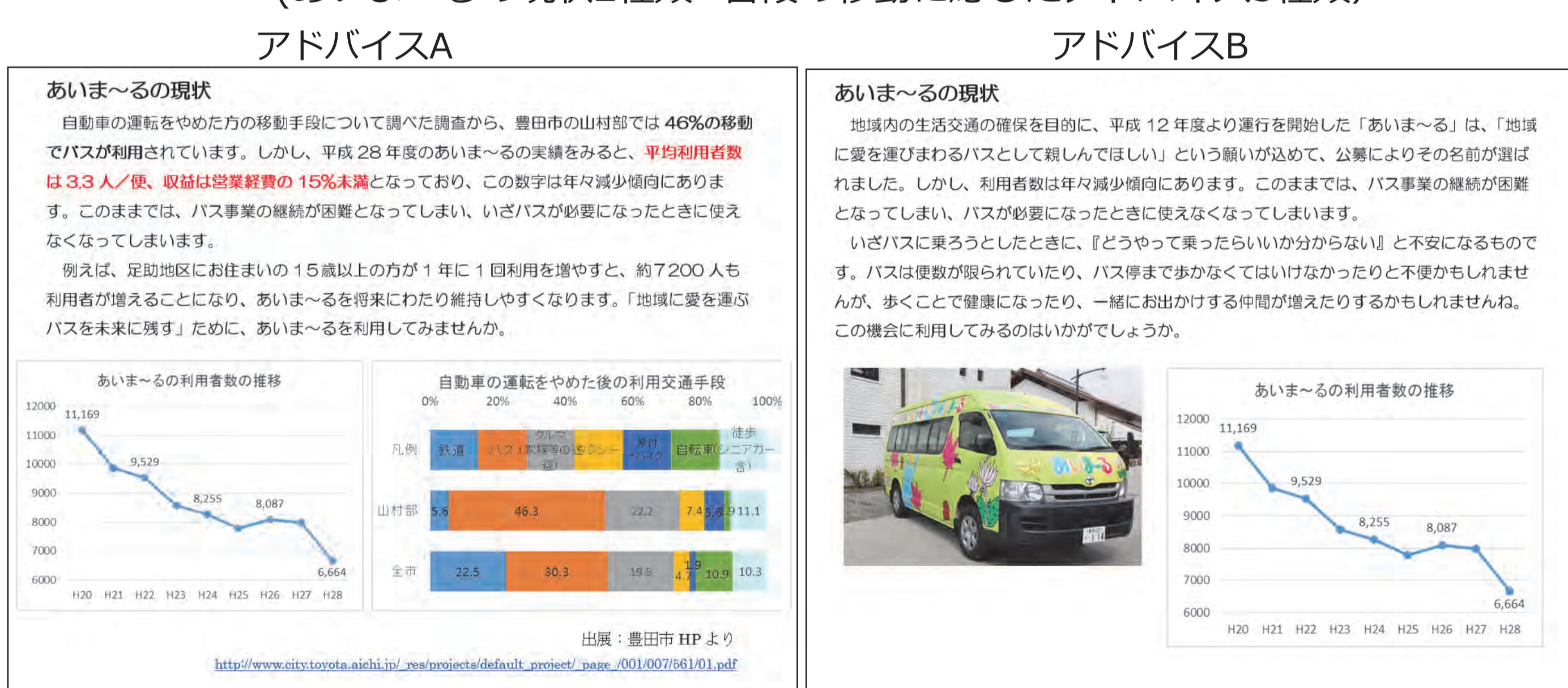
MMの流れ

事前調査（2017年9月中旬）

対象者：足助地区全世帯（2850世帯） 回収数：1044世帯2492名（世帯回収率37%）
調査内容：
世帯票（世帯人数と属性、保有する移動手段）
個人票（普段の移動、公共交通に関する意識など）

コミュニケーションアンケート（2017年10月中旬）

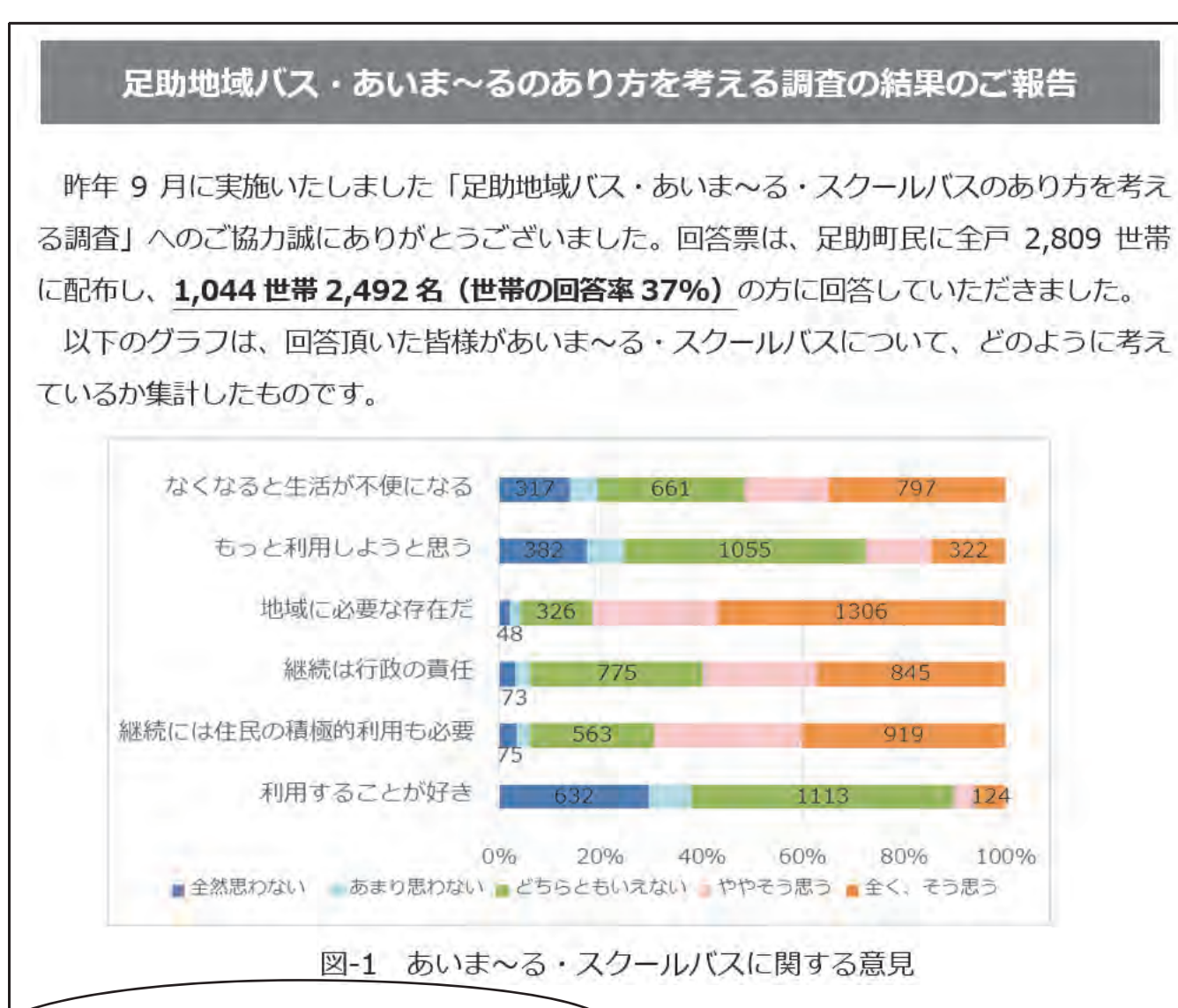
対象者：事前調査回答者のうち636名（バス停が比較的近い方）
配布物：
足助地域バス利用のお願い
バスの時刻表と路線図
足助地域バスの利用券（4枚、800円分）
バス利用に関するアドバイスシート
（あいま〜るの現状2種類×普段の移動に応じたアドバイス3種類）



あいま〜るの利用（2017年10月23日-12月22日）

事後調査（2018年3月）

対象者：事前調査回答者のうち住所が判明している世帯 876世帯2133名
回収数：541世帯1085名（世帯回収率62%、回収率：53%）
配布物
MMの結果報告書
アンケート調査票：期間中にあいま〜るの利用、公共交通に関する意識

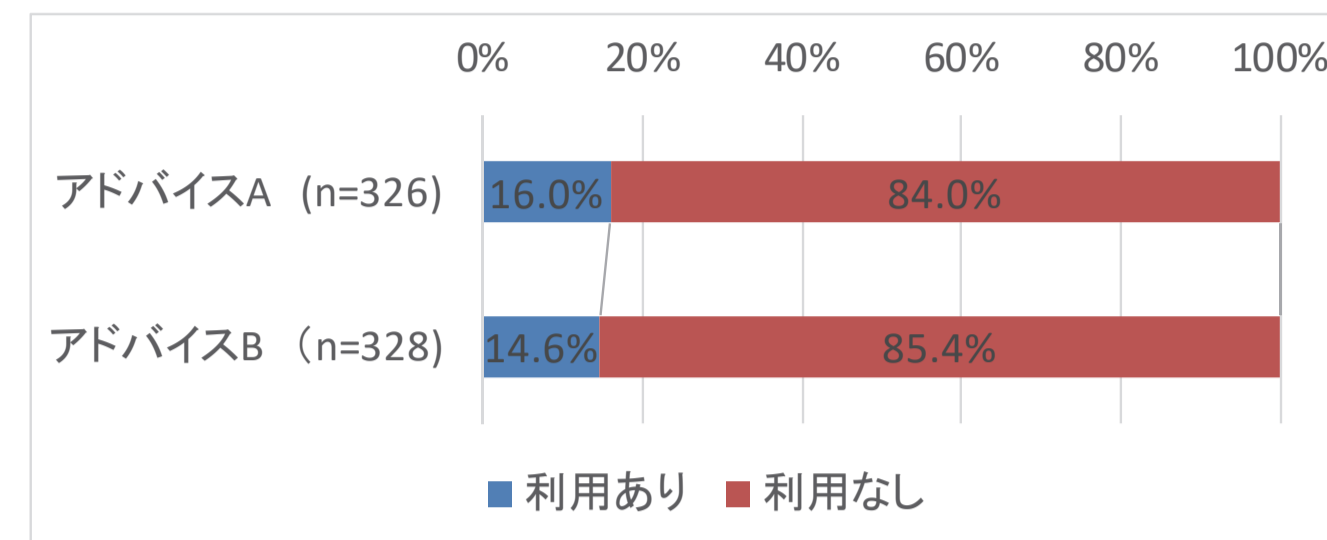
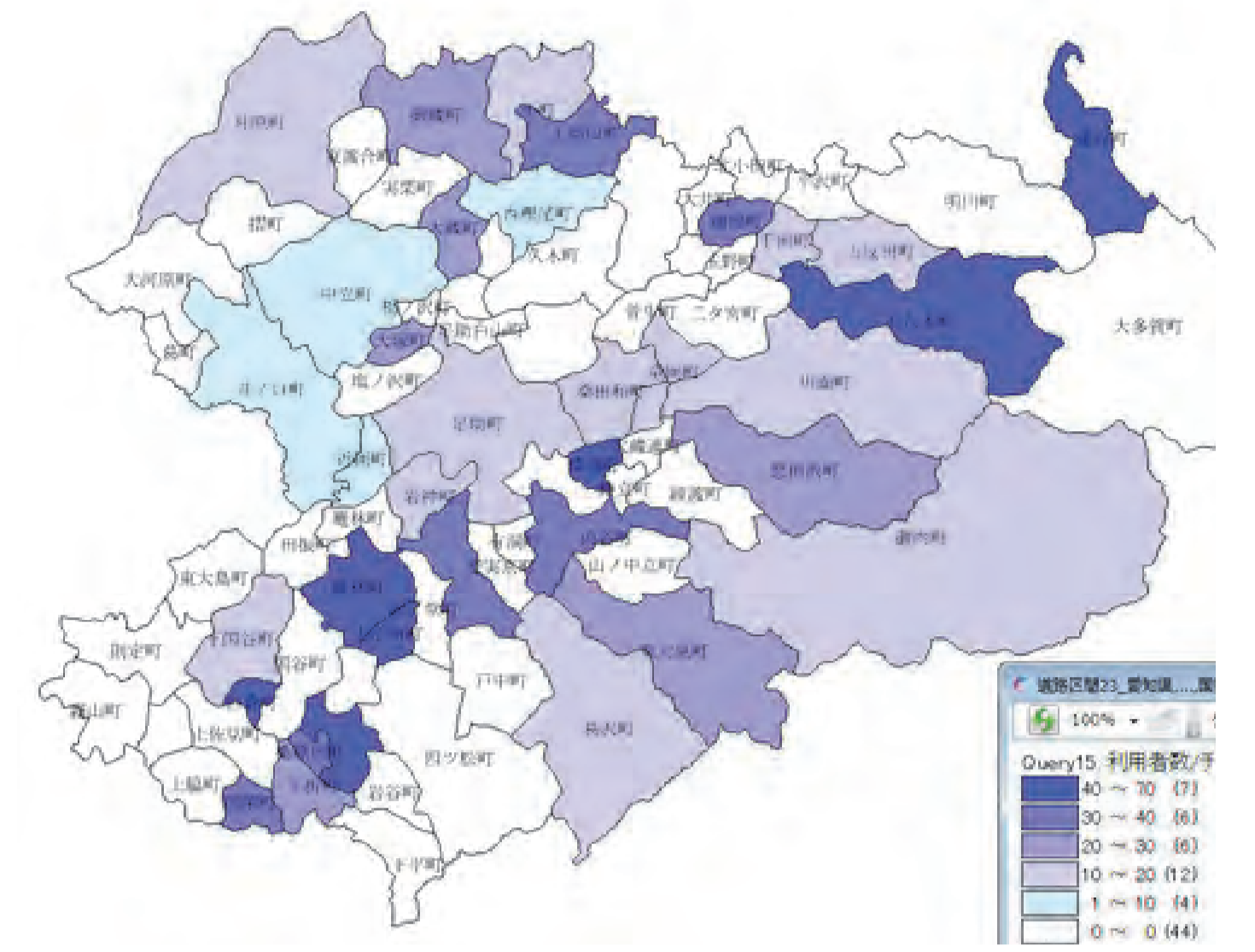


バスチケットの利用状況

- 利用者(100名) /配布者数：15%
内、91名は普段利用されていない方
- チケット利用：317枚（利用率12%）

利用路線	人数
あいま〜るのみ	85
スクールのみ	9
両方	6
総計	100

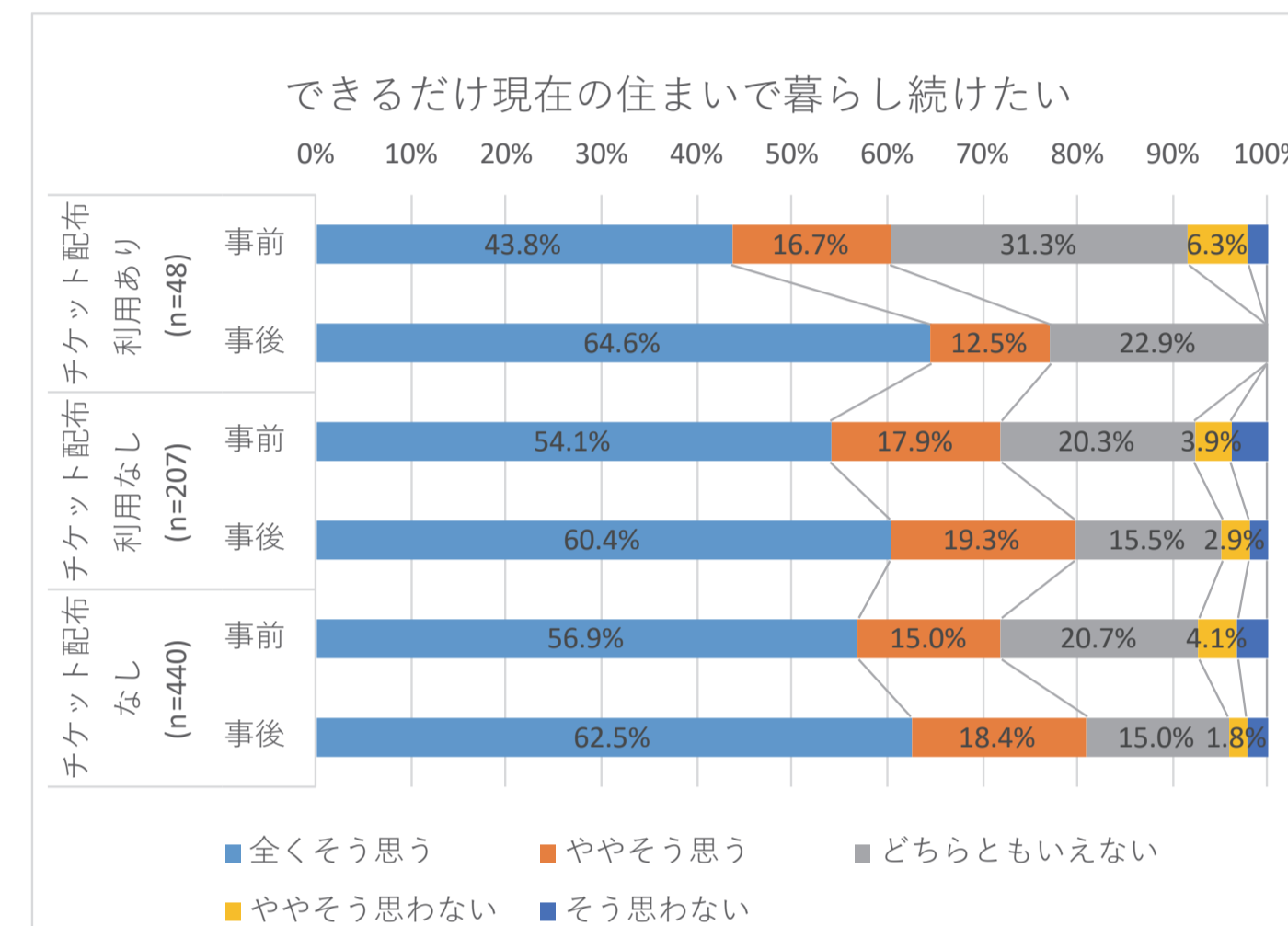
町別利用者/配布者数 (%)



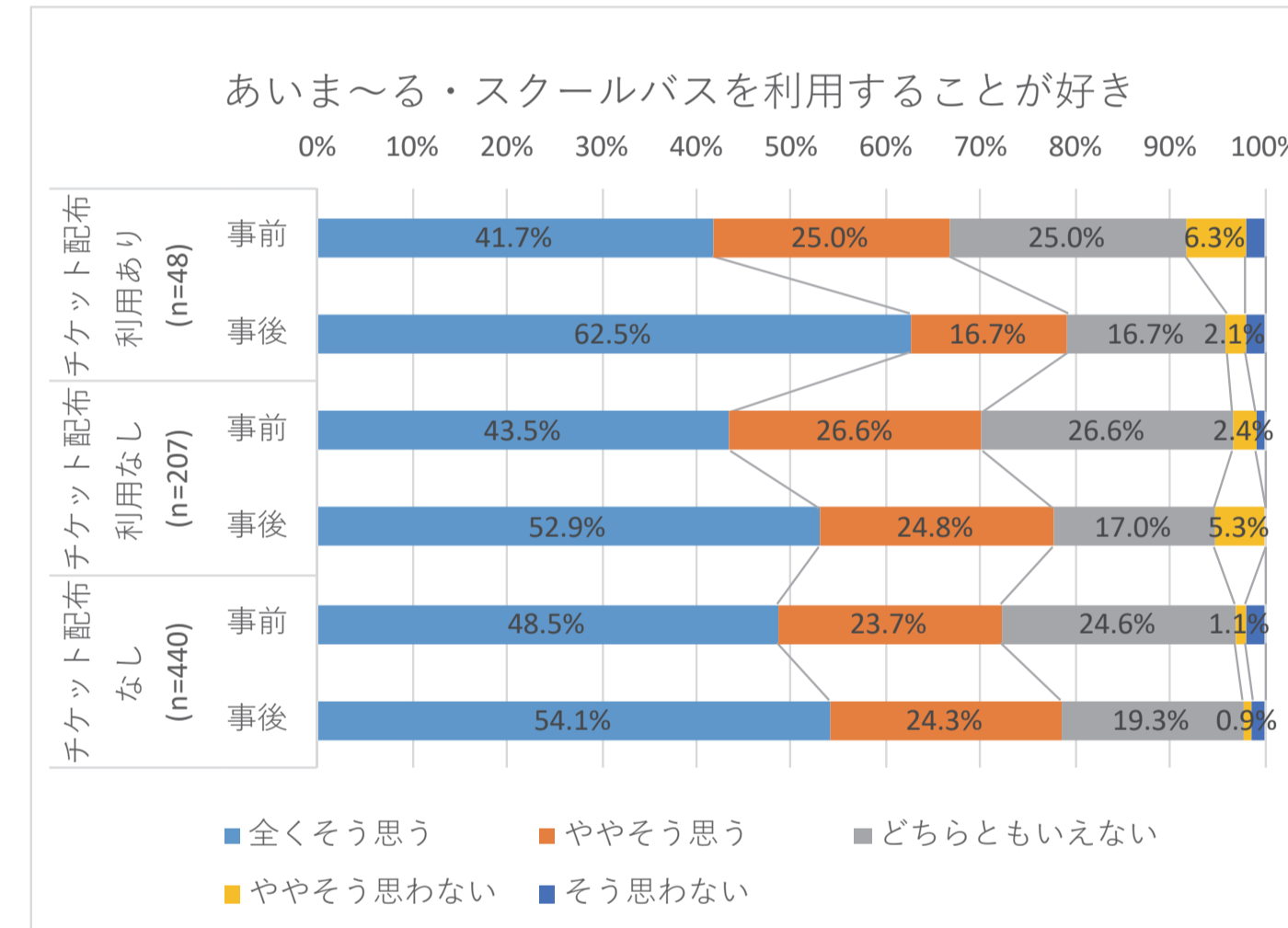
アドバイスAのほうが利用者が若干多い

意識の変化

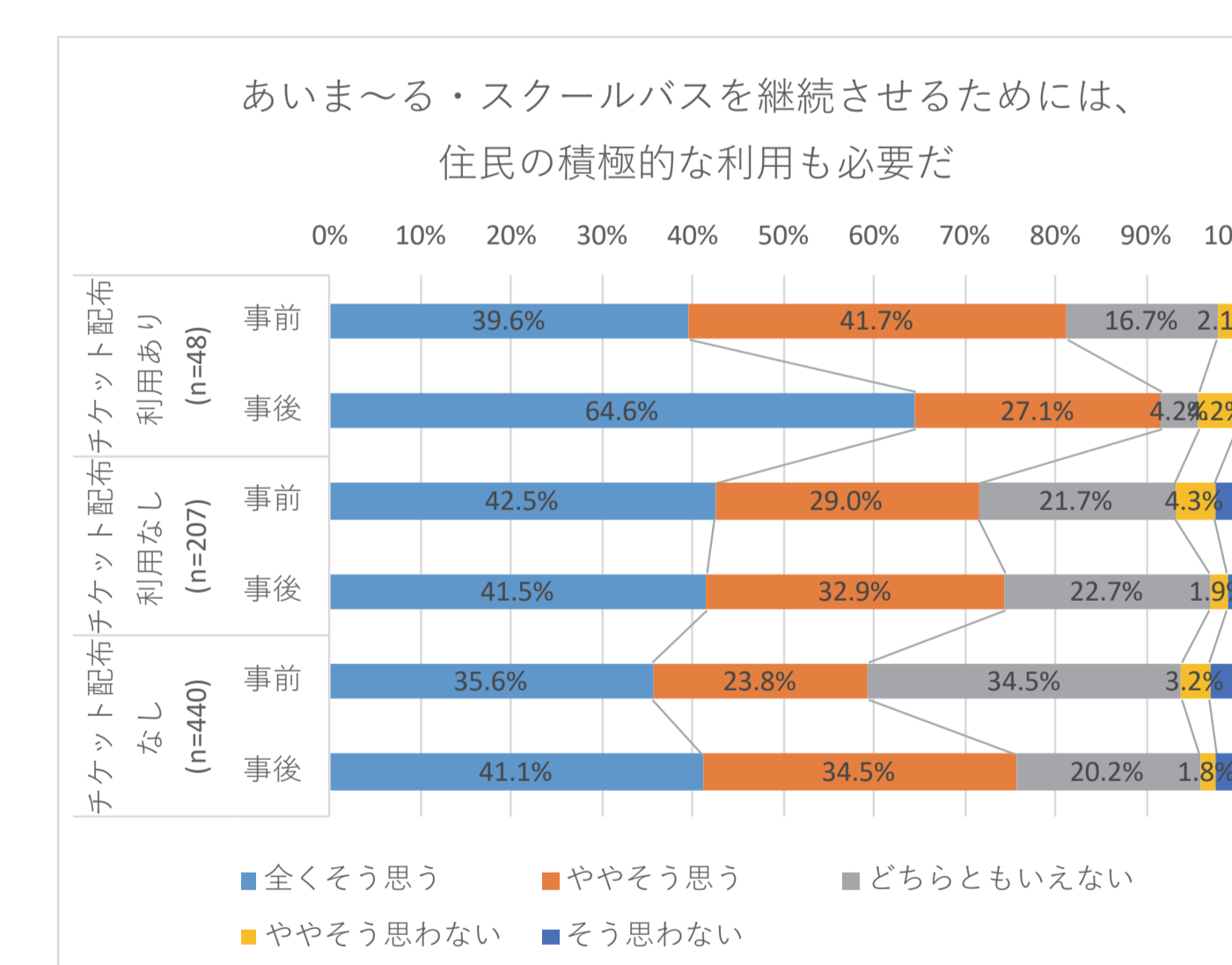
事前・事後の両方に回答があった方（696名）を対象に意識を比較



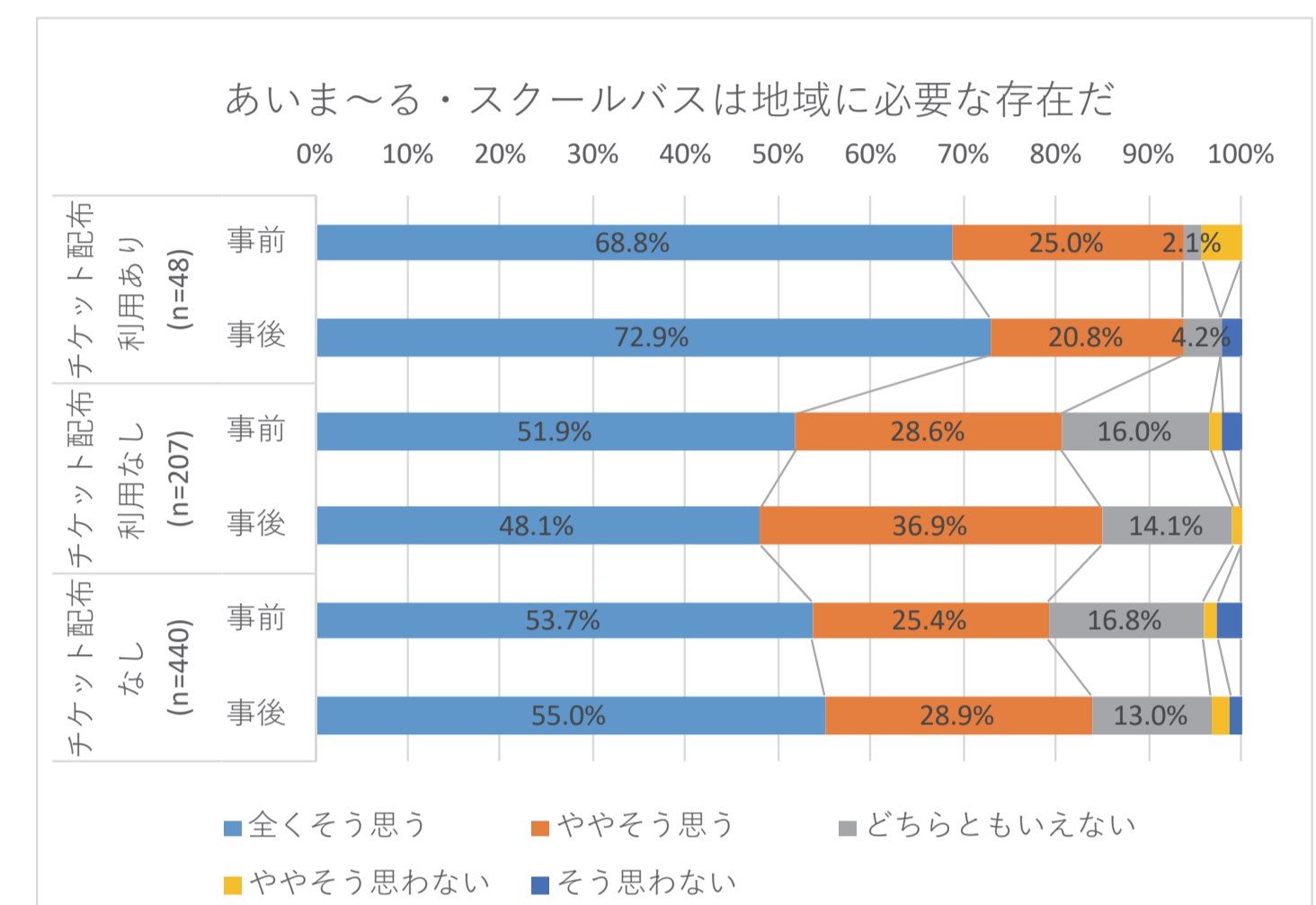
バスの利用経験により、現在の住まいで暮らし続けたい人が増える



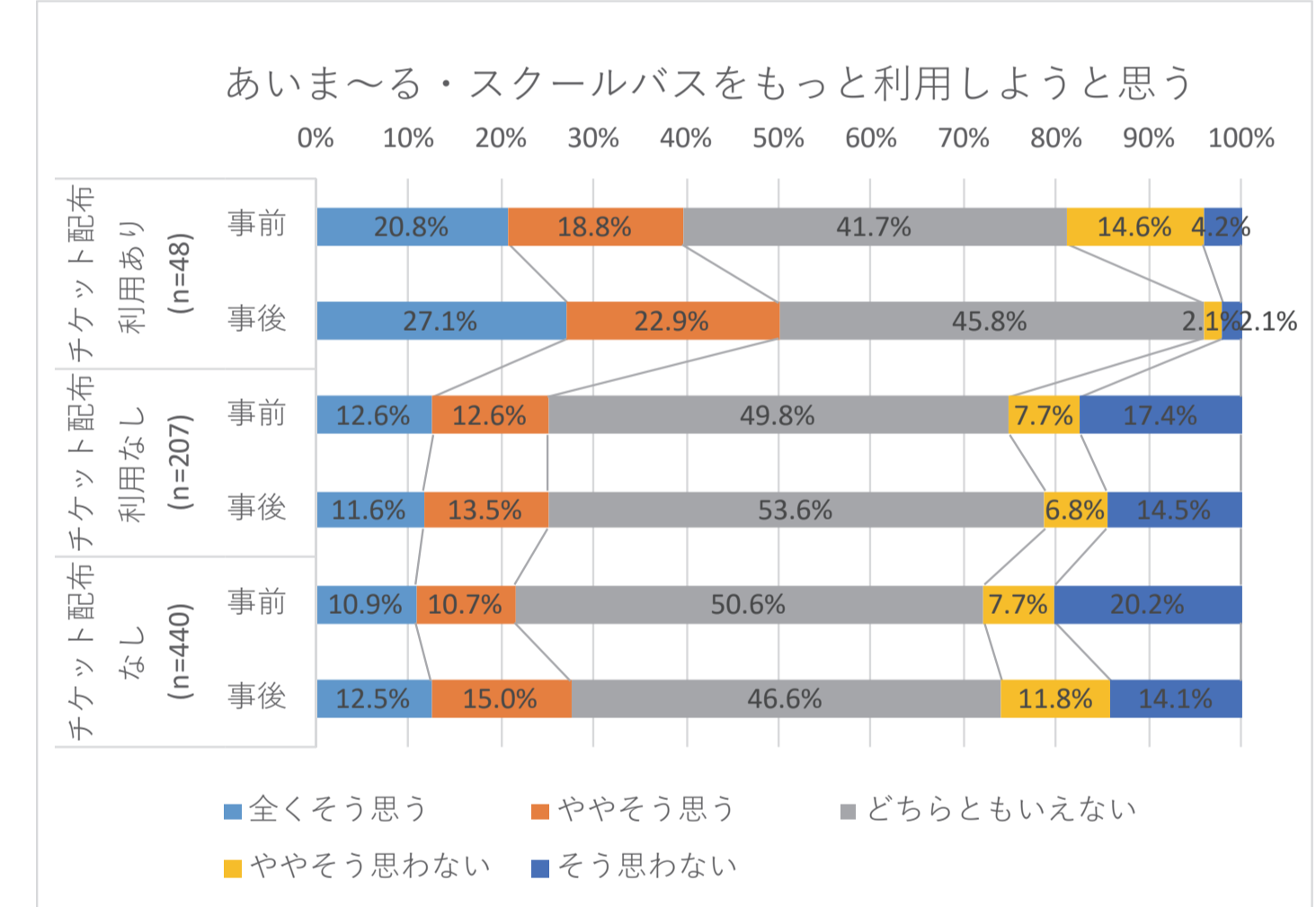
バスの利用経験により、地域バスの利用が好きな人が増加し、もっとバスを利用しようと思う人も増加



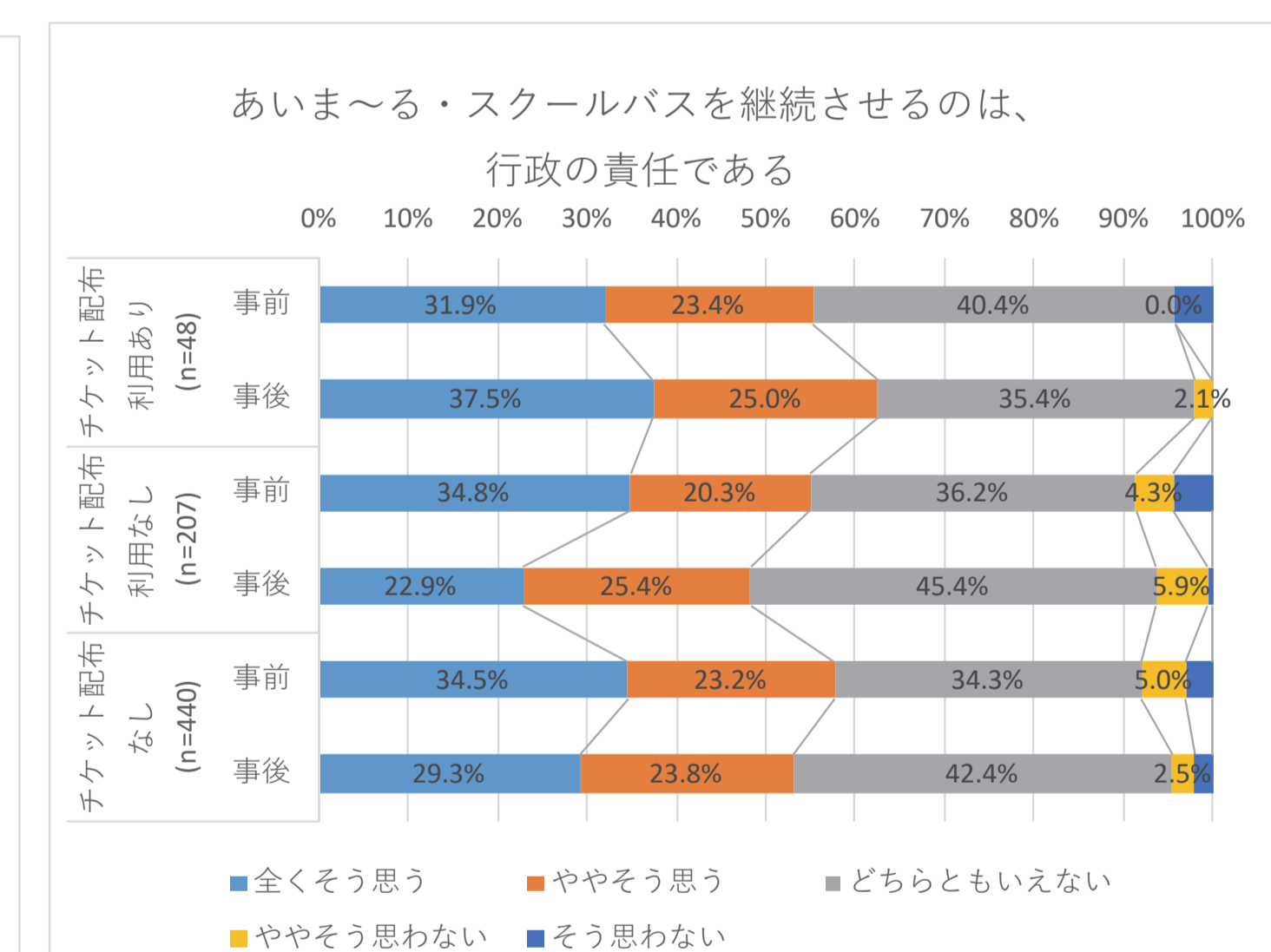
バスの利用経験により、住民の積極的な利用の必要性を感じる人が増える



バスの利用経験により、バスが地域に必要な存在と回答する人が増加



バスの利用経験により、地域バスの利用が好きな人が増加し、もっとバスを利用しようと思う人も増加



バスを利用した人のほうが、バスの継続は行政の責任と感じる人が増える

結論／今後の方針

- ・地域バス利用促進MMで配布したバスチケットの利用者100名のうち、普段地域バスを利用しない91名であった。
- ・配布したチケットを利用して、あいま〜るを利用した方は、愛郷心やバスをもっと利用しようという意識の上昇がみられた。

今後の研究方針

- ・事前事後の意識の変化の把握
- ・バスの利用意向をモデル化することにより、どのような人がどのような情報によって、バスを利用するようになるのかを把握する。